

## ■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	2017年3月6日から2027年3月5日まで
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主に世界のリアルアセット関連企業の債券、株式、リート等を実質的に分散投資を行うことで、安定したインカムゲインの確保とともに中長期的な信託財産の成長を目指します。
主要投資対象	当ファンドは以下の投資信託証券を主要投資対象とします。 ブルックフィールド・グローバル・リアルアセット・ファンド クラスA 世界のリアルアセット関連企業の債券、株式、リートなど キャッシュ・マネジメント・マザーファンド 本邦貨建て公社債および短期金融商品等
当ファンドの運用方法	■主に世界のリアルアセット関連企業の債券、株式、リート等を実質的に分散投資を行うことで、安定したインカムゲインの確保とともに中長期的な信託財産の成長を目指します。 ■外国投資信託証券においては、世界のリアルアセット関連企業等が発行する債券、株式、リート等に投資します。運用は「ブルックフィールド・パブリック・セキュリティーズ・グループ・エルエルシー」が行い、ボトムアップの分析等により魅力的な銘柄を選定します。 ■組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。 ■市場動向に応じて『債券』、『株式』、『リート』等の資産配分を定期的に見直します。
組入制限	■外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	■年2回（原則として毎年3月および9月の5日。休業日の場合は翌営業日）決算を行い、分配金額を決定します。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益（評価損益を含みます。）等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。 資産成長型は複利効果による信託財産の成長を優先するため、分配を極力抑制します。（基準価額水準、市況動向等によっては変更する場合があります。）

# 世界リアルアセット・バランス (資産成長型)

## 【運用報告書(全体版)】

(2023年3月7日から2023年9月5日まで)

第 13 期

決算日 2023年9月5日

## 受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは投資信託証券への投資を通じて、主に世界のリアルアセット関連企業の債券、株式、リート等を実質的に分散投資を行うことで、安定したインカムゲインの確保とともに中長期的な信託財産の成長を目指します。当期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。

## 三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1  
<https://www.smd-am.co.jp>

### ■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ

お取引のある販売会社へお問い合わせください。

### ■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976  
受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

## 世界リアルアセット・バランス（資産成長型）

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

### ■ 最近5期の運用実績

決算期	基準価額			公組 社入 比率	債券 信託 証券 比率	純資 産額
	(分配落)	税金 込金 騰落 率	騰落 率			
9期 (2021年9月6日)	円 11,812	円 0	% 11.4	% 0.1	% 97.3	百万円 1,505
10期 (2022年3月7日)	11,876	0	0.5	0.0	96.7	1,385
11期 (2022年9月5日)	13,384	0	12.7	0.0	95.9	1,429
12期 (2023年3月6日)	12,851	0	△4.0	0.0	95.6	1,175
13期 (2023年9月5日)	13,658	0	6.3	0.0	95.9	1,145

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

### ■ 当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準価額		公組 社入 比率	債券 信託 証券 比率
	騰落 率	騰落 率		
(期首) 2023年3月6日	円 12,851	% —	% 0.0	% 95.6
3月末	12,547	△2.4	0.0	96.0
4月末	12,791	△0.5	0.0	96.1
5月末	12,975	1.0	0.0	96.2
6月末	13,597	5.8	0.0	96.3
7月末	13,455	4.7	0.0	96.4
8月末	13,673	6.4	0.0	95.9
(期末) 2023年9月5日	13,658	6.3	0.0	95.9

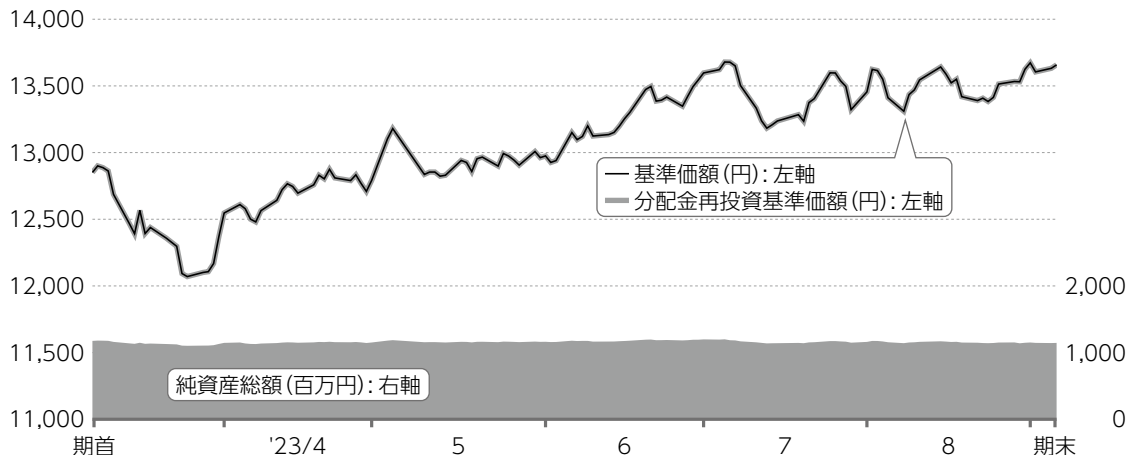
※騰落率は期首比です。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

# 1 運用経過

基準価額等の推移について（2023年3月7日から2023年9月5日まで）

## 基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

期首	12,851円
期末	13,658円 (既払分配金0円(税引前))
騰落率	+6.3% (分配金再投資ベース)

## 分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

### 基準価額の主な変動要因（2023年3月7日から2023年9月5日まで）

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、主に世界のリアルアセット関連企業の債券、株式、リート（不動産関連株式）等に実質的に分散投資を行いました。

#### 上昇要因

- リアルアセット関連債券において、ベース金利は上昇したものの、社債のクレジットスプレッド（国債に対する上乗せ金利）が縮小したため、プラスに寄与したこと
- 為替市場において、米ドルが対円で上昇したこと

#### 下落要因

- リートにおいて、全ての地域のパフォーマンスが低迷しマイナスに作用したこと
- インフラ関連株式において、全てのセクターが低迷し、特に通信セクターがマイナスに作用したこと

投資環境について（2023年3月7日から2023年9月5日まで）

運用期間におけるリアルアセット関連債券市場は上昇した一方、リート市場およびインフラ関連株式市場は下落しました。また、為替市場では、米ドルが対円で上昇しました。

### リアルアセット関連債券市場

運用期間のリアルアセット関連債券は上昇しました。米10年国債利回りはF R B（米連邦準備制度理事会）の利上げサイクルが長期化したことで上昇しましたが、クレジットスプレッドの縮小基調が続いたことでプラスとなりました。

### インフラ関連株式市場

運用期間のインフラ関連株式は下落しました。地域別では中国の景気減速に伴いアジア太平洋地域の下落が最も大きく、北米、欧州がそれに続きました。

### リート市場

運用期間のリートは下落しました。主要国の利上げサイクルが長期化するなか、長期金利（10年国債利回り）に上昇圧力が掛かり続けたことで、リートは下落しました。セクター別ではセルフストレージとホテルが大きく下落した一方、住宅と産業は横ばいとなりました。

### 為替市場

日本銀行がマイナス金利政策を維持したことや、F R Bが利上げを継続する姿勢を示したことから、期間を通じて上昇基調が続きました。ただし、7月に指値オペ（日銀が指定する利回りで国債を無制限に買い入れるオペ）の水準が0.5%から1.0%へ引き上げられたことがサプライズとなり、一時的に円高に振れる局面もありました。

ポートフォリオについて（2023年3月7日から2023年9月5日まで）

## 当ファンド

主要投資対象である「ブルックフィールド・グローバル・リアルアセット・ファンド クラスA」を運用期間を通じて高位に組み入れました。

## ブルックフィールド・グローバル・リアルアセット・ファンド クラスA

当ファンドでは、金融政策が各国経済に浸透するにつれて2023年の世界経済の成長は鈍化するものの、インフレは各中央銀行の目標インフレ率を上回る水準で推移する

ため、金融引き締めは当面続くとの見方を維持しました。

そのためディフェンシブ（景気変動の影響を受けにくい）なポジションを維持し、リアルアセット関連債券をややオーバーウェイト、リアルアセット関連株式（インフラ関連株式およびリート）をアンダーウェイトとしたポートフォリオを維持しました。

## キャッシュ・マネジメント・マザーファンド

主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指した運用を行いました。

ベンチマークとの差異について（2023年3月7日から2023年9月5日まで）

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

分配金について（2023年3月7日から2023年9月5日まで）

（単位：円、1万口当たり、税引前）

項目	第13期
当期分配金	0
（対基準価額比率）	（0.00%）
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	4,118

期間の分配は、複利効果による信託財産の成長を優先するため、見送りとしたしました。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

※「対基準価額比率」は、「当期分配金」（税引前）の期末基準価額（分配金（税引前）込み）に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

## 2 今後の運用方針

### 当ファンド

引き続き、運用の基本方針に従い、「ブルックフィールド・グローバル・リアルアセット・ファンド クラスA」への投資を通じて、主に世界のリアルアセット関連企業の債券、株式、リート等を実質的に分散投資を行うことで、安定したインカムゲインの確保とともに中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。

### ブルックフィールド・グローバル・リアルアセット・ファンド クラスA

リアルアセット関連債券においては、今後数四半期は景気が緩やかに減速すると予想しており、今がリアルアセット関連債券に投資する好機であると考えています。クレジットスプレッドの水準は長期的な平均値の範囲内にとどまっていることから、魅力的な利回り水準はポートフォリオの質を向上させる好機であり、より質の高いインフラ関連銘柄を選好する方針です。

インフラ関連株式に関しては、最近の厳しい業績環境下においてもディフェンシブな特性を持つ公益セクターに最も注目しています。また、再生可能エネルギーとエネルギー中流企業にも追い風が吹いており、再生可能電力へのエネルギー転換と世界的

なエネルギー安全保障の推進から恩恵を受ける可能性があると考えています。公益事業セクターでは、送電網の強化やセキュリティへの支出を可能にする建設的な規制環境を享受している公益事業会社を選好しています。

運輸セクターでは、不透明な景気見通しにもかかわらず利用者数の増加が見込まれる欧州の空港に建設的な見方をしています。通信セクターでは米国外の企業で魅力度が高い企業に引き続き注目しています。エネルギーセクターでは、引き続き北米の天然ガス関連資産を選好しており、米国の規制緩和から恩恵を受ける可能性があるとみています。

リートに関しては、不動産のバリュエーション（投資価値評価）は魅力的に見えますが、資金調達に関する懸念から商業用不動産に対するネガティブなセンチメント（投資家心理）が続くとみて、慎重姿勢を維持しています。賃貸収入の成長が見込まれる質の高い銘柄に注目しており、米国では、ヘルスケア、産業、住宅セクターを選好しています。米国以外では、マクロ経済指標の軟化と中国不動産セクターの低迷を受けて、香港をアンダーウェイトとしています。



## キャッシュ・マネジメント・マザーファンド

円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指します。

## 3 お知らせ

### 約款変更について

該当事項はございません。

## 世界リアルアセット・バランス（資産成長型）

### 1万口当たりの費用明細（2023年3月7日から2023年9月5日まで）

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	74円	0.565%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数) 期中の平均基準価額は13,085円です。
（投信会社）	(25)	(0.193)	投信会社:ファンド運用の指図等の対価
（販売会社）	(47)	(0.358)	販売会社:交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(2)	(0.014)	受託会社:ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	－	－	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料:有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株式）	(－)	(－)	
（先物・オプション）	(－)	(－)	
（投資信託証券）	(－)	(－)	
(c) 有価証券取引税	－	－	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税:有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株式）	(－)	(－)	
（公社債）	(－)	(－)	
（投資信託証券）	(－)	(－)	
(d) その他費用	1	0.005	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(－)	(－)	保管費用:海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(1)	(0.005)	監査費用:監査法人に支払うファンドの監査費用
（その他）	(0)	(0.000)	その他:信託事務の処理等に要するその他費用
合計	75	0.570	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

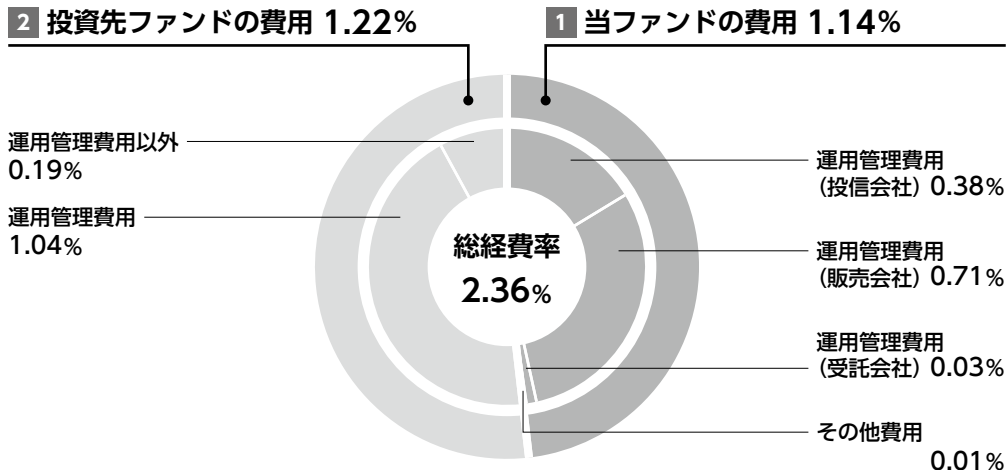
※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

※各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。



## 参考情報 総経費率(年率換算)



<b>総経費率(1 + 2)</b>	<b>2.36%</b>
<b>1 当ファンドの費用の比率</b>	<b>1.14%</b>
<b>2 投資先ファンドの運用管理費用の比率</b>	<b>1.04%</b>
<b>2 投資先ファンドの運用管理費用以外の比率</b>	<b>0.19%</b>

※**1**の各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。

※**2**の投資先ファンド(当ファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く))の費用は、入手可能なファンド全体のデータをもとに委託会社が計算した経費率です。そのため、実際に投資しているシェアクラスの経費率とは大きく異なる場合があります。投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。

※**1**と**2**の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。

※上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した比率に、投資先ファンドの経費率を加えた総経費率(年率)は2.36%です。

## 世界リアルアセット・バランス（資産成長型）

### ■ 当期中の売買及び取引の状況（2023年3月7日から2023年9月5日まで）

#### 投資信託証券

			買 付		売 付	
			口 数	買 付 額	口 数	売 付 額
外 国	アメリカ	ブルックフィールド・グローバル・リアルアセット・ファンド クラスA	3,144	千アメリカ・ドル 266	8,888	千アメリカ・ドル 751

※金額は受渡し代金。

### ■ 利害関係人との取引状況等（2023年3月7日から2023年9月5日まで）

#### 利害関係人との取引状況

#### 世界リアルアセット・バランス（資産成長型）

当期中における利害関係人との取引等はありません。

#### キャッシュ・マネジメント・マザーファンド

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況 B	B A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況 D	D C
公 社 債	百万円 1,251	百万円 850	% 67.9	百万円 -	百万円 -	% -

※平均保有割合 0.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期中における当ファンドに係る利害関係人とは、SMB C日興証券株式会社です。

### ■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 （2023年3月7日から2023年9月5日まで）

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

## 世界リアルアセット・バランス（資産成長型）

### ■ 組入れ資産の明細（2023年9月5日現在）

#### (1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	期首(前期末)		期 末		組 入 比 率
	口 数	口 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(その他)	口	口	千アメリカ・ドル	千円	%
ブルックフィールド・グローバル・リアルアセット・ファンド クラスA	95,849.52	90,105.97	7,495	1,098,469	95.9
合 計	95,849.52	90,105.97	—	1,098,469	95.9

※邦貨換算金額は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

#### (2) 親投資信託残高

種 類	期 首(前期末)		期 末	
	口 数	口 数	評 価 額	評 価 額
キャッシュ・マネジメント・マザーファンド	千口 598	千口 598	千円 607	千円 607

※キャッシュ・マネジメント・マザーファンドの期末の受益権総口数は3,312,586,958口です。

### ■ 投資信託財産の構成

(2023年9月5日現在)

項 目	期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 受 益 証 券	千円 1,098,469	% 94.9
キャッシュ・マネジメント・マザーファンド	607	0.1
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	58,150	5.0
投 資 信 託 財 産 総 額	1,157,226	100.0

※期末における外貨建資産（1,123,686千円）の投資信託財産総額（1,157,226千円）に対する比率は97.1%です。

※外貨建資産は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=146.56円です。

## 世界リアルアセット・バランス（資産成長型）

### ■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

（2023年9月5日現在）

項 目	期 末
(A) 資 産	1,162,559,130円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	46,342,921
投資信託受益証券(評価額)	1,098,469,337
キャッシュ・マネジメント・マザーファンド(評価額)	607,049
未 収 入 金	17,139,823
(B) 負 債	17,128,379
未 払 金	5,371,384
未 払 解 約 金	5,171,192
未 払 信 託 報 酬	6,525,233
そ の 他 未 払 費 用	60,570
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	1,145,430,751
元 本	838,660,805
次 期 繰 越 損 益 金	306,769,946
(D) 受 益 権 総 口 数	838,660,805口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D)	13,658円

※当期における期首元本額914,805,534円、期中追加設定元本額3,316,303円、期中一部解約元本額79,461,032円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額（元本の欠損）となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

### ■ 損益の状況

（自2023年3月7日 至2023年9月5日）

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	31,473,597円
受 取 配 当 金	31,481,855
受 取 利 息	252
支 払 利 息	△ 8,510
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	42,698,947
売 買 益	84,536,756
売 買 損	△ 41,837,809
(C) 信 託 報 酬 等	△ 6,586,129
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	67,586,415
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	211,289,283
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	27,894,248
(配 当 等 相 当 額)	( 39,285,605)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 11,391,357)
(G) 合 計 (D + E + F)	306,769,946
次 期 繰 越 損 益 金 (G)	306,769,946
追 加 信 託 差 損 益 金	27,894,248
(配 当 等 相 当 額)	( 39,285,605)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 11,391,357)
分 配 準 備 積 立 金	306,090,870
繰 越 損 益 金	△ 27,215,172

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※株式投資の信託報酬等には消費税等相当額が含まれており、公社債投資には内訳の一部に消費税等相当額が含まれています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※分配金の計算過程は以下の通りです。

	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	28,680,375円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	39,285,605
(d) 分配準備積立金	277,410,495
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	345,376,475
1 万 口 当 た り 当 期 分 配 対 象 額	4,118.19
(f) 分配金	0
1 万 口 当 た り 分 配 金	0

### ■ 分配金のお知らせ

1 万 口 当 た り 分 配 金 (税 引 前)	当	期

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

## 世界リアルアセット・バランス（資産成長型）

### ■ 組入れ投資信託証券の内容

#### 投資信託証券の概要

ファンド名	ブルックフィールド・グローバル・リアルアセット・ファンド クラスA
形態	ケイマン籍契約型投資信託（米ドル建て）
主要投資対象	世界のリアルアセット関連企業の債券、株式、リートなど
運用の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>●世界のリアルアセット（インフラストラクチャー、不動産、天然資源など）関連の企業等が発行する債券、株式、リートなどに投資します。</li> <li>●基本資産配分は、債券50%、インフラ株式25%、リート25%とし、市場環境等によって資産配分を変動させます。</li> <li>●原則として対円で為替ヘッジは行いません。</li> <li>●資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。</li> </ul>
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日本の投資信託協会の規則に従って計算される、同一発行体に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーは、原則として、それぞれ純資産総額の10%以内、合計で純資産総額の20%以内とします。</li> <li>●投資信託証券（上場投資信託を除く）への投資は、原則としてファンドの純資産総額の5%以内とします。上場投資信託への投資は、原則としてファンドの純資産総額の10%以内とします。</li> <li>●流動性に欠ける資産への投資割合は、純資産総額の15%以下とします。</li> <li>●有価証券の空売りは行わないものとします。</li> <li>●デリバティブ取引は、ヘッジ目的に限定しません。</li> </ul>
分配方針	原則として毎月行います。
運用管理費用	<p>純資産総額に対して</p> <p>運用報酬 年0.65%程度          受託会社報酬 年0.015%程度          事務代行費用等 年0.025%程度</p> <p>※上記のほか、保管費用などがかかりますが、運用状況等により変動するものであり、事前に料率等を示すことができません。</p> <p>また、上記の料率には、年間最低報酬額や取引ごとにかかる費用等が定められている場合があるため、純資産総額の規模や取引頻度等によっては、上記の料率を上回る場合があります。</p>
その他の費用	<p>ファンドの設立費用、取引関連費用、法的費用、会計・監査および税務上の費用ならびにその他の費用を負担します。</p> <p>これらは、ファンドの運営状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。</p>
申込手数料	ありません。
投資顧問会社	ブルックフィールド・パブリック・セキュリティーズ・グループ・エルエルシー
購入の可否	日本において一般投資者は購入できません。

以下には、「ブルックフィールド・グローバル・リアルアセット・ファンド クラスA」をシェアクラスとして含む「ブルックフィールド・グローバル・リアルアセット・ファンド」の情報を委託会社において抜粋、要約して翻訳したものを記載しています。

## 世界リアルアセット・バランス（資産成長型）

### ■ 包括利益計算書（2022年3月31日に終了した年度）

	2022年 (米ドル)
収益	
損益を通じて公正価値で測定される負債性及び貸付証券の金利収益	440,702
損益を通じて公正価値で測定される金融資産の配当収益	415,807
損益を通じて公正価値で測定される金融資産および負債の純利益	1,520,473
収益合計	<u>2,376,982</u>
費用	
配当費用	1,697
投資顧問報酬	161,523
信託報酬	3,728
管理会社報酬	11,212
カストディアン報酬	88,009
監査報酬	36,706
その他の手数料及び費用	9,382
費用合計	<u>312,257</u>
税引前利益	2,064,725
配当金に係る源泉税	<u>(97,037)</u>
当期包括利益	<u>1,967,688</u>



## 世界リアルアセット・バランス（資産成長型）

### 組入上位銘柄

（基準日：2022年3月31日）

	銘柄名	組入比率
1	NextEra Energy Inc	1.9%
2	Prologis Inc	1.7%
3	Dominion Energy Inc	1.6%
4	Enbridge Inc	1.5%
5	Crown Castle International Corp	1.3%
6	FirstEnergy Corp	1.2%
7	Sempra Energy	1.2%
8	Transurban Group	1.2%
9	Public Storage	1.1%
10	Welltower Inc	1.0%
	全銘柄数	251銘柄

※比率は債券、株式、リート、現金等の時価総額を100%として計算した値です。

# キャッシュ・マネジメント・マザーファンド

第17期（2022年7月26日から2023年7月25日まで）

信託期間	無期限（設定日：2007年2月20日）
運用方針	■本邦貨建て公社債および短期金融商品等に投資を行い、利息等収入の確保を図ります。

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

## ■最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		公 社 債 率	純 資 産 額
		騰 落	中 率		
13期（2019年7月25日）	円		%		百万円
	10,167	△0.0	72.9		3,760
14期（2020年7月27日）	10,160	△0.1	86.2		4,668
15期（2021年7月26日）	10,154	△0.1	62.8		5,851
16期（2022年7月25日）	10,152	△0.0	75.3		4,586
17期（2023年7月25日）	10,148	△0.0	68.8		3,220

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

## ■当期中の基準価額と市況等の推移

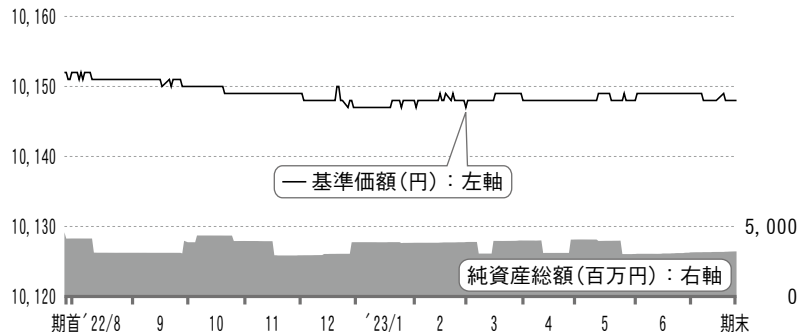
年 月 日	基 準	価 額		公 社 債 率
		騰 落	率	
(期 首) 2022年7月25日	円		%	%
	10,152	—	75.3	
7月末	10,152	0.0	83.4	
8月末	10,151	△0.0	71.2	
9月末	10,150	△0.0	68.4	
10月末	10,149	△0.0	74.4	
11月末	10,149	△0.0	78.8	
12月末	10,147	△0.0	59.7	
2023年1月末	10,148	△0.0	55.5	
2月末	10,147	△0.0	61.9	
3月末	10,148	△0.0	65.2	
4月末	10,148	△0.0	55.8	
5月末	10,148	△0.0	83.0	
6月末	10,149	△0.0	79.9	
(期 末) 2023年7月25日	10,148	△0.0	68.8	

※騰落率は期首比です。

## 1 運用経過

### ▶ 基準価額等の推移について（2022年7月26日から2023年7月25日まで）

#### 基準価額等の推移



期首	10,152円
期末	10,148円
騰落率	-0.0%

### ▶ 基準価額の主な変動要因（2022年7月26日から2023年7月25日まで）

当ファンドは、本邦通貨建ての公社債および短期金融商品等を主要投資対象とし、安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行いました。

上昇要因	・ 保有している公社債からスプレッド（国債に対する上乗せ金利）分のインカム収入を得たこと
下落要因	・ マイナス金利政策導入を背景として無担保コールレートがマイナス化していること

---

**▶ 投資環境について (2022年7月26日から2023年7月25日まで)**

---

期間における国内短期金融市場は、マイナス圏で推移しました。

世界的にインフレが高止まりを続けたことや、欧米中央銀行による大幅な利上げの継続を背景に円安が進行したことから、国内でも物価上昇率が拡大し、CPIコア（生鮮食品除く消費者物価指数）は前年比+4%台まで上昇しました。しかし、日銀はコストプッシュ型の物価上昇は持続的でないとの見方から、「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」政策を維持し、日銀当座預金の一部へのマイナス金利付利を継続しました。

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、欧米での金融不安の影響でリスク回避の動きが強まるなど一時的に大きく低下する局面もありました。しかし、日銀が需給動向を勘案し、短期国債の買入れ額を調整したことから、期間を通じて概ねレンジ推移となりました。

---

**▶ ポートフォリオについて (2022年7月26日から2023年7月25日まで)**

---

安全性と流動性を考慮し、短期の政府保証債を中心とした運用を行いました。年限に関しては、残存6ヵ月以内の短期の政府保証債を中心とした運用を継続しました。

---

**▶ ベンチマークとの差異について (2022年7月26日から2023年7月25日まで)**

---

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

## 2 今後の運用方針

植田新体制となった日本銀行は、内外経済や金融市場を巡る不確実性が高い中、物価安定の目標を実現するために、イールドカーブ・コントロール（長短金利操作）の枠組みによる緩和政策を維持する姿勢を示しています。又、政策金利の引き上げに関してもかなりの距離があるというスタンスであり、市場利回りは当分の間低い水準での推移を予想します。当ファンドでは引き続き、安全性と流動性をもっとも重視したスタンスでの運用を継続し、短期の国債・政府保証債を中心とした運用を行っていきます。ファンドの平均残存年限については、2～4ヵ月程度を目安に短めを基本とする方針です。

### ■ 1万口当たりの費用明細 (2022年7月26日から2023年7月25日まで)

項 目	金 額	比 率	項 目 の 概 要
(a) そ の 他 費 用 (そ の 他)	0円 (0)	0.001% (0.001)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 そ の 他：信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	0	0.001	

期中の平均基準価額は10,149円です。

※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

### ■ 当期中の売買及び取引の状況 (2022年7月26日から2023年7月25日まで)

#### 公社債

		買 付 額	売 付 額
		千円	千円
国 内	特 殊 債 券	2,588,525	1,115,668 (2,295,000)
	社 債 券	1,003,960	200,380 (1,200,000)

※金額は受渡し代金。（経過利子分は含まれておりません。）

※（ ）内は償還等による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

※社債券には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

■ 利害関係人との取引状況等 (2022年7月26日から2023年7月25日まで)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況 B	B A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況 D	D C
公 社 債	3,592	351	9.8	1,316	400	30.4

利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは、SMB C日興証券株式会社です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況  
(2022年7月26日から2023年7月25日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細 (2023年7月25日現在)

公社債

A 債券種類別開示

国内(邦貨建)公社債

区 分	期				末		
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBBB格以下 組 入 比 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
	千円	千円	%	%	%	%	%
特 殊 債 券 (除く金融債券)	1,512,000 (1,512,000)	1,515,449 (1,515,449)	47.1 (47.1)	— (—)	— (—)	— (—)	47.1 (47.1)
普 通 社 債 券	700,000 ( 700,000)	700,906 ( 700,906)	21.8 (21.8)	— (—)	— (—)	— (—)	21.8 (21.8)
合 計	2,212,000 (2,212,000)	2,216,355 (2,216,355)	68.8 (68.8)	— (—)	— (—)	— (—)	68.8 (68.8)

※ ( ) 内は非上場債で内書きです。

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

## キャッシュ・マネジメント・マザーファンド

### B 個別銘柄開示 国内（邦貨建）公社債

種 類	銘 柄	期			末
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
特 殊 債 券 (除く金融債券)	195 政保道路機構	0.9110	211,000	211,036	2023/07/31
	51政保地方公共団	0.8350	51,000	51,024	2023/08/14
	52政保地方公共団	0.8010	400,000	400,470	2023/09/15
	202 政保道路機構	0.6990	200,000	200,416	2023/10/31
	207 政保道路機構	0.6930	250,000	250,799	2023/12/28
	56政保地方公共団	0.7470	200,000	200,780	2024/01/19
	19 政保中部空港	0.6450	200,000	200,922	2024/03/18
小 計		—	1,512,000	1,515,449	—
普 通 社 債 券	10 ダイセル	1.0500	100,000	100,127	2023/09/13
	4 第一三共	0.8460	100,000	100,107	2023/09/15
	16 T H K	0.0100	100,000	99,990	2023/09/15
	16 パナソニック	0.3000	100,000	100,029	2023/09/20
	62 名古屋鉄道	0.0010	100,000	99,990	2023/10/26
	124 東武鉄道	0.0010	100,000	99,981	2023/11/27
381 中国電力	0.9530	100,000	100,678	2024/04/25	
小 計		—	700,000	700,906	—
合 計		—	2,212,000	2,216,355	—

### ■ 投資信託財産の構成

(2023年7月25日現在)

項 目	期		末
	評 価 額	比	率
公 社 債	千円		%
	2,216,355		68.8
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	1,004,177		31.2
投 資 信 託 財 産 総 額	3,220,533		100.0

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2023年7月25日現在)

項 目	期 末
<b>(A) 資 産</b>	<b>3, 220, 533, 245円</b>
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	1, 000, 072, 870
公 社 債 (評価額)	2, 216, 355, 807
未 収 利 息	4, 026, 107
前 払 費 用	78, 461
<b>(B) 負 債</b>	<b>132, 158</b>
未 払 解 約 金	129, 805
そ の 他 未 払 費 用	2, 353
<b>(C) 純 資 産 総 額 (A - B)</b>	<b>3, 220, 401, 087</b>
元 本	3, 173, 308, 529
次 期 繰 越 損 益 金	47, 092, 558
<b>(D) 受 益 権 総 口 数</b>	<b>3, 173, 308, 529口</b>
1 万 口 当 たり 基 準 価 額 (C / D)	10, 148円

※当期における期首元本額4,518,439,727円、期中追加設定元本額4,568,402,225円、期中一部解約元本額5,913,533,423円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※期末における元本の内訳は以下の通りです。

SMBCファンドラップ・日本バリュー株	984,252円
SMBCファンドラップ・J-REIT	984,252円
SMBCファンドラップ・G-REIT	93,018,163円
SMBCファンドラップ・ヘッジファンド	311,216,889円
SMBCファンドラップ・米国株	984,543円
SMBCファンドラップ・欧州株	89,718,432円
SMBCファンドラップ・新興国株	61,111,034円
SMBCファンドラップ・コモディティ	30,882,058円
SMBCファンドラップ・米国債	136,874,567円
SMBCファンドラップ・欧州債	68,341,252円
SMBCファンドラップ・新興国債	54,958,024円
SMBCファンドラップ・日本グロース株	167,596,581円
SMBCファンドラップ・日本中小型株	27,029,827円
SMBCファンドラップ・日本債	964,891,078円
エマーゼンダ・ボンド・ファンド・円コース(毎月分配型)	598,887円
エマーゼンダ・ボンド・ファンド・豪ドルコース(毎月分配型)	606,168円
エマーゼンダ・ボンド・ファンド・ニュージーランドドルコース(毎月分配型)	347,745円
エマーゼンダ・ボンド・ファンド・ブラジルリアルコース(毎月分配型)	619,829円
エマーゼンダ・ボンド・ファンド・南アフリカランドコース(毎月分配型)	468,047円
エマーゼンダ・ボンド・ファンド・トルコリラコース(毎月分配型)	886,592円
エマーゼンダ・ボンド・ファンド(マネーボールファンド)	160,540,296円
大和住銀 中国株式ファンド(マネー・ポートフォリオ)	23,023,407円
エマーゼンダ・ボンド・ファンド・中国元コース(毎月分配型)	354,941円

日本株厳選ファンド・円コース	270,889円
日本株厳選ファンド・ブラジルリアルコース	438,760円
日本株厳選ファンド・豪ドルコース	679,887円
日本株厳選ファンド・アジア3通貨コース	9,783円
日本株225・米ドルコース	49,237円
スマート・ストラテジー・ファンド(毎月決算型)	12,541,581円
スマート・ストラテジー・ファンド(年2回決算型)	4,566,053円
カナダ高配当株ツインα(毎月分配型)	433,260円
日本株厳選ファンド・米ドルコース	196,696円
日本株厳選ファンド・メキシコペソコース	196,696円
日本株厳選ファンド・トルコリラコース	196,696円
エマーゼンダ・ボンド・ファンド・カナダドルコース(毎月分配型)	25,219円
エマーゼンダ・ボンド・ファンド・メキシコペソコース(毎月分配型)	565,128円
グローバル創薬関連株式ファンド	984,834円
世界リアルアセット・バランス(毎月決算型)	466,767円
世界リアルアセット・バランス(資産成長型)	598,196円
米国分散投資戦略ファンド(1倍コース)	532,269,094円
米国分散投資戦略ファンド(3倍コース)	419,719,410円
米国分散投資戦略ファンド(5倍コース)	445,153円
グローバルDX関連株式ファンド(予想分配金提示型)	295,276円
グローバルDX関連株式ファンド(資産成長型)	1,968,504円
日興FWS・日本株クオリティ	19,697円
日興FWS・日本株市場型アクティブ	19,697円
日興FWS・先進国株クオリティ(為替ヘッジあり)	19,697円
日興FWS・先進国株クオリティ(為替ヘッジなし)	19,697円
日興FWS・先進国株市場型アクティブ(為替ヘッジあり)	19,697円
日興FWS・先進国株市場型アクティブ(為替ヘッジなし)	19,697円
日興FWS・新興国株アクティブ(為替ヘッジあり)	19,697円
日興FWS・新興国株アクティブ(為替ヘッジなし)	19,697円
日興FWS・日本債アクティブ	19,697円
日興FWS・先進国債アクティブ(為替ヘッジあり)	19,697円
日興FWS・先進国債アクティブ(為替ヘッジなし)	19,697円
日興FWS・新興国債アクティブ(為替ヘッジあり)	19,697円
日興FWS・新興国債アクティブ(為替ヘッジなし)	19,697円
日興FWS・Jリートアクティブ	19,697円
日興FWS・Gリートアクティブ(為替ヘッジあり)	19,697円
日興FWS・Gリートアクティブ(為替ヘッジなし)	19,697円
日興FWS・ヘッジファンドマルチ戦略	19,697円
日興FWS・ヘッジファンドアクティブ戦略	19,697円

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。



## ■ 損益の状況

(自2022年7月26日 至2023年7月25日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	18,678,439円
受 取 利 息	19,164,050
支 払 利 息	△ 485,611
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△19,826,607
売 買 益	64,000
売 買 損	△19,890,607
(C) そ の 他 費 用 等	△ 37,796
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	△ 1,185,964
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	68,548,674
(F) 解 約 差 損 益 金	△88,179,394
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	67,909,242
(H) 合 計 (D + E + F + G)	47,092,558
次 期 繰 越 損 益 金 (H)	47,092,558

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## ■ お知らせ

<約款変更について>

該当事項はございません。